

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



Vol. 74

ボンファイアー・ナイト



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」!

案内役は、国際交流員のエマ・セイヤーズさんとアレックス・ロザウスキさんです。

Hello everyone! エマです。最近鶴田町の景色が変わりましたね。

美しい紅葉がイギリスの秋を思い出させたので、今回は母国の秋の習慣についてお話ししたいと思います。

1605年11月5日、イングランドの国会議事堂を爆破する陰謀が発覚しました。その当時、イングランドの国教はプロテスタント(新教)でした。ある日、弾圧されていたカトリック教徒の過激派がイングランド王ジェームズ1世を倒す計画を目論みました。それは国王を暗殺する計画で、実行責任者のガイ・フォークスと12人の共謀者は上院議場の地下に大量の火薬を仕掛けました。しかし、その計画は実行直前に発覚しました。数日前にジェームズ1世は「議会に出席しないでください」という警告の手紙を受け取りました。ジェームズ1世は疑いを抱き、一帯の搜索を命じました。その結果火薬の入った樽が発見され、ガイ・フォークスは逮捕されました。最後に、ガイ・フォークスはロンドンのウェストミンスター・ホールで裁判にかけられ、結局死刑になりました。



△ガイ・フォークス

恐ろしい話にも関わらず、イギリスでこの行事は「ガイ・フォークス・ナイト」または「ボンファイアー・ナイト」と呼ばれ、イギリスの恒例行事として毎年11月5日に開催されます。イギリスの人たちは次の韻を踏んだ詩でその日を覚えています。

Remember, remember the fifth of November,
Gunpowder, treason and plot,
I know of no reason
Why the gunpowder treason
Should ever be forgot.
思い出して、思い出して、11月の5日、
火薬と反逆と陰謀、
決して火薬と反逆のことを忘れてはならない。

イギリスの村や、町などの人々は野原に集まって、一緒にボン



△ボンファイアー・ナイトの光景

ファイアーを造ります。また、地元の子供たちはガイ・フォークスにちなんで「ガイ」という等身大の人形も作ります。そしてちょっと狂喜的ではありますが、この人形はボンファイアーの上に投げ

入れられます。みんなはボンファイアーで体を暖めながら、花火をしたり、次のような伝統的な食べ物を食べたりします。

・Bangers & Mash

(バンガーズ・アンド・マッシュ)

ソーセージとマッシュポテト

・Baked Potatoes

(バークド・ポテトズ)

ボンファイアーの上で焼いたバークドポテトにお好みの具を入れて 例: チリ、チーズ、ツナ等

・Toffee Apples

(トフィー・アップルズ)

りんご飴

・Parkin & Bonfire Toffee

(パークイン、ボンファイアー・トフィー)

糖蜜で作られているお菓子



△トフィー・アップルズ (りんご飴)

元々は悲しい話でしたが、まったく対照的に現在はボンファイアー・ナイトは家族や友達などを呼び集める習慣になってきました。さらに、もう宗教的な意味合いはなく、地域の楽しい秋のイベントとなっています。最近、鶴田町にも秋がやって来ました。イギリス人と同様に、体だけでなく心もあたたかくするために、おいしい食べ物を食べたり、紅葉を楽しんだり、秋を楽しみましょう!

一母国ユニオン・ジャック (イギリス国旗) の生立ち一

皆さんご存じのユニオン・ジャックは、下の図のようにイギリスを構成する4つの非独立国の旗を合わせて1801年にできました。よく見るとウェールズの旗(赤い竜)が入っていませんが、ウェールズは13世紀の早い時期にイングランドに服属したために、旗のデザインが取り入れられなかったのです。現在になって、一部から取り入れたらどうかという意見もありますが、ユニオン・ジャックがあまりにも世界に定着していて、他国の国旗にも影響することを考え、できませんでした。



△イギリスの国旗